

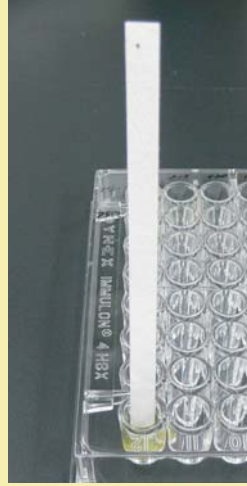
# ワケギウイルス病の迅速・簡易診断法

ウイルスフリー株の種球管理のために、ろ紙を使ったウイルス診断法を開発しました。従来の方法（電子顕微鏡や遺伝子診断）と比べて特別な機材を必要とせず、短時間でウイルス感染の有無を判定することができます。

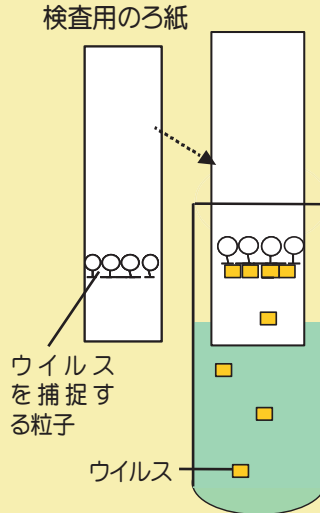
## ウイルス検定の流れ



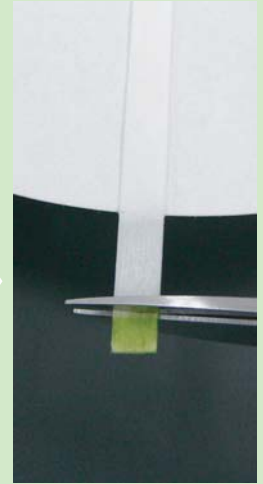
葉をすりつぶす  
液中にウイルスが浮遊します



搾汁液にろ紙を浸す（5-7分）



ろ紙を搾汁液に浸すとウイルスがろ紙の下端に捕捉されます



ろ紙の先端を切断する  
ゴミが付着した先端を切り、吸水性を良くします

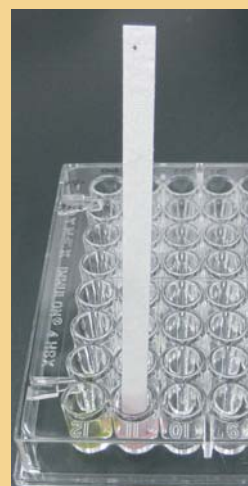


### ★本検定法の長所

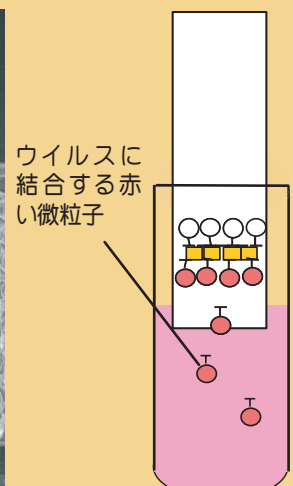
- 迅速性  
30-40分で検定可能  
(従来法の一つである遺伝子診断では検査に半日要しています)
- 簡便性  
特別な機械や操作が不要  
(従来法では遺伝子増幅装置や電子顕微鏡が必要でした)



乾燥させる  
ウイルスに感染している場合は赤い微粒子がろ紙上で帯となって見えます



検定液に浸す（15-20分）



検定液に浸すと捕捉されたウイルスに赤い微粒子が結合します